

## 生校体験 校看護師高生

### イキイキとした姿で まわりも元気に

久しぶりの対面開催

コロナ禍で中止やリモート開催に変更してきた看護師体験。久しぶりに病院での対面開催ができました。参加者は15校から60人でした。



体験の様子

身だしなみを整えました。アイスブレイクで緊張をほぐした後は、病院の紹介、バイタルサインを学び、参加者同士で脈拍測定や聴診を体験しました。「看護師の一日」の動画を視聴し、病院見学へ。

現場の看護師インタビューでは、「看護生生活は大変ですか?」「夜の病院は怖いですか?」「お話しする時は、患者さんのどこを見ますか?」などの質問がありました。

最後は、看護師を目指すためのサポートと、奨学金の案内も行いました。

「病室の入口など、様々なところに消毒液や予備のマスクがあつたのが

### 泉州看護専門学校入学式

新緑が芽吹く季節を迎えた4月7日、泉州看護専門学校41期生40人が、期待を胸に駆けめ入学校式を迎えました。

斎藤和則校長より「看護・医療について広く学ぶ必要があり、一つ一つの講義を大切にしてほしい」との式辞があり、大阪民医連看護委員会代表、医療福祉生活協同組合おおさかの宗田美代子

2023年度  
泉州看護専門学校 入学式

この立場に立って寄り添い、患者さんに決意表明では「患者さんなら任せた」と述べました。

（泉州看護専門学校 教員 大久保倫世）

に努力してほしい」など、期待の言葉をいただきました。また、在校生代表から「一人ではなくクラスのみんながいるから、不安な時や困った時には相談したらい。相談することではない。頼りになる先輩、教員、同期がいます」と歓迎と励ましの言葉が贈られました。

医療福祉生活協同組合おおさかの宗田美代子

## 「旧優生保護法下における強制不妊手術問題に対する見解」から

### なぜ気がつかなかつた③



医運の理事会記録では、旧優生保護法改正時の経済条項廃止には反対したもの、胎児

（社会医療法人 同仁会 副理事長 斎藤 和則）

国会は無作為の責任を認め、不十分ながらも賠償を決めました。2019年仙台地裁、2020年大阪地裁、2021年札幌地裁の判決は憲法違反を認めたものの除斥期間を過ぎてはして賠償を認めませんでした。しかしその後、昨年大阪高裁、東京高裁、そして今年の熊本地裁など各裁判所で除斥期間理由は正義、公平に反するとして、国に損害賠償を命じました。民法の除斥規定より上位の憲法に違反したのだから政府は、被害者に直ちにお詫びをし、賠償に応ずるべきです。

一方で、私たち民医連はなぜ、憲法違反、人権侵害である旧優生保護法と強制手術に気がつかなかつたのか。民医連内調査では、医師の断種手術が実施されていたとの証言があり、手術も続いていたことを認識していた産婦人科医もいました。しかし、全日本民医連の理事会記録では、旧優生保護法改正時の経済条項廃止には反対したもの、胎児

条項への言及はありません。1981年国際障害者年では、障害を作り出す社会的障壁にも焦点を当てようとの提起されました。その後も、国際的なレベルで障害に対する取り組みが進展を続け、2014年の障害者権利条約は「心身がそのままの状態で尊重される権利」を謳いました。このような世界の動きに、私たちの人権意識・倫理観が追いつけていませんでした。障害を存在しない方がいいものとし、治療、保護の対象として見ていたのが根底にあり、障害者と家族、支援団体などの結びつきが弱かつたことも影響したと思われます。これらを踏まえ、全日本民医連は、憲法、人権など常に学習しニユース、社会情勢、人権に職員が敏感になれる職場作りを提案しています。

### 理事会報告

#### 3月理事会〈概要〉

開催日時：

3月23日（木）午後6時～8時

出席：理事 26名  
監事 3名

◆報告

（主な内容）

- 拡大常任理事会、各種委員会概要
- 健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
- 無料低額診療の各事業所実績
- 2023年1月度決算概要
- 新型コロナウイルス協議確認事項
- 評議員の退任について承認